

# 北海道国際協力フェスタ 2016

## 報告書



主催：北海道NGOネットワーク協議会  
共催：独立行政法人国際協力機構(JICA)北海道国際センター  
助成：公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター  
後援：北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、  
公益財団法人札幌国際プラザ、北海道新聞社

## 目 次

☆ ごあいさつ	2
☆ 北海道国際協カフェスタ 2016 概要	3
☆ セクション報告	6
➤ ブース	
➤ ステージ	
➤ 広報・インフォデスク	
➤ ワークショップ	
☆ 北海道国際協カフェスタ実行委員会企画	11
➤ ワークショップ～メッセージカードづくりについて～	
➤ ステージ～コクサイキョウリョクの壁をぶっこわせ！～	
☆ 反省会	13
☆ 添付資料	16

## ごあいさつ

報告書をご覧いただきましてありがとうございます。北海道国際協力フェスタ 2016 実行委員長の 大崎美佳 です。今年度も学生さん、NGO など多くの方にご協力をいただきまして、北海道国際協力フェスタを盛会に終えることができました。この場を借りて関係者の皆さまに心から御礼を申し上げます。

今回は、テーマを「Try to Rethink」としました。過去のフェスタでテーマとなった「Try to Think」からヒントを得て、また来年度に 20 周年を迎えることから、私たちが今までの国際協力を振り返り、これからの国際協力のあり方をどうしていくべきか考える機会にするため、このテーマとしました。32 のフェスタ参加団体の皆さまは、きっとそれぞれの団体の歩みを振り返り、これから目指す方向性、取り組みについて考えていただけたと思います。

私たちのフェスタの強みはなんといっても「多様性」であると考えています。「国際協力」という一言ですが、多岐にわたる意味を持っており、各団体様々な取り組みをされております。ここ北海道国際協力フェスタでは、チャリティーバザー、団体紹介ブース、ステージパフォーマンス、ワークショップ、パネルという様々な方法で、参加団体さんが自分たちの取り組みを表現しやすい方法を選べるよう工夫しています。堅苦しい言葉である国際協力を来場者の方は自身の持つイメージとは違った一面から見るができる場にするのも関係者で意識をしました。また、ミニイベントとしてスタンプラリーを企画しました。来場者の方が会場全体を回っていただき新しい発見につながったのではないかと思います。フェスタで生まれる交流をとおして、来場者の方に対してだけではなく、フェスタ関係者の方も一緒に世界のこと、自分たちのことを見直すきっかけだったり、新しいことに挑戦するステップの 1 つになったりする場になってきていると自信を持っていえます。

たった 6 時間のイベントですが、準備には 1 年間をかけて行っております。「多様性」を肌で感じることができる場を一緒につくりませんか？仲間も絶賛募集中です。

ご来場いただいた皆さま、ご参加いただいた団体の皆さま、共催いただいた JICA 北海道国際センター(札幌)さま、助成をいただいた(公財)北海道国際交流・協力総合センター(HIECC)さま、実行委員として 1 年間フェスタを盛り上げてきた皆さま、多くの方のお力添えで成り立っていることを肝に銘じて、これからも進んでいこうと思います。

ご関係の皆さまに感謝申し上げますとともに、引き続き国際協力の推進にご協を賜りますようお願い申し上げます。

北海道国際協力フェスタ 2016  
実行委員長 大崎美佳



## ■北海道国際協力フェスタ 2016 概要

### 1. 北海道国際協力フェスタとは？

1997年から始まった道内の国際協力関係者が一堂に会する場。目的は以下のとおり。

- (1) NGO/NPO 団体から国際協力/国内協力活動について市民に広く提供する。
- (2) 世界の暮らしや文化に触れ、国際協力に参加する機会を市民に提供する。
- (3) 国際協力の原点は社会的弱者への配慮であることから、国内にも目を向け国内協力活動への理解を深める。
- (4) 市民の方と共有したい社会的な課題を一緒に考える機会を持つ。

### 2. 北海道国際協力フェスタ実行委員会

運営は北海道 NGO ネットワーク協議会の会員を中心に、実行委員会形式で行う。

	氏名（敬称略）	役割	所属
1	村橋 裕	ブース	(公社) 青年海外協力協会
2	島田 祐亮	ブース	NPO 法人「飛んでけ！車いす」の会
3	佐藤 千恵子	ステージ	札幌大通高校
4	夏目 寿彦	広報・インフォデスク	NPO 法人どさんこ海外保健協力会
5	木原 由里子	広報・インフォデスク	NPO 法人どさんこ海外保健協力会
6	内山 こむぎ	広報・インフォデスク	日本医療大学 2年
7	藤田 薫	広報・インフォデスク	日本医療大学 2年
8	志田 佳奈美	広報・インフォデスク	日本医療大学 2年
9	八木 直美	広報・インフォデスク	北海道文教大学 2年
10	渡邊 史帆	ワークショップ	札幌国際大学 4年
11	久保 奈菜	ワークショップ	あやめの歯科
12	三浦 満帆	ワークショップ	札幌国際大学 3年
13	立石 喜裕	事務局（ワークショップ）	北海道 NGO ネットワーク協議会
14	岡田 朋子	事務局	(一財) 北海道国際交流センター
15	大崎 美佳	事務局（実行委員長）	北海道 NGO ネットワーク協議会

### 3. 内容

日時：平成 28 年 12 月 3 日（土）11:00～17:00

場所：札幌駅前地下広場（チ・カ・ホ）北 3 条交差点広場

主催：北海道 NGO ネットワーク協議会 共催：JICA 北海道国際センター（札幌）

助成：(公社) 北海道国際交流・協力総合センター

後援：北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、(公財) 札幌国際プラザ、北海道新聞社

構成：会場内に 5 つのセクション「チャリティーバザー」「団体紹介ブース」「ステージパフォーマンス」「ワークショップ」「パネル」を設け、参加団体がセクションを選択する形式とした。

詳細は、セクションの報告を参照。来場者数は、約 2,000 名であった。

#### 4. 会議等

フェスタの準備、振り返りまで8回の会議を設けた。

日時	名称	内容
8/18 (木)	北海道国際協力フェスタ参加団体募集開始	
6/29 (水)	第1回北海道国際協力フェスタ実行委員会	顔合わせ、テーマ決め
7/27 (水)	第2回北海道国際協力フェスタ実行委員会	募集要項確認、実施内容の検討
10/5 (水)	第3回北海道国際協力フェスタ実行委員会	各班の進捗報告、申込状況確認、 広報先の選定
10/22 (土)	第1回北海道国際協力フェスタ参加団体 ミーティング	概要説明、ポスターの発送作業
11/17 (木)	第4回北海道国際協力フェスタ実行委員会	当日に向けた実行委員会内の確認
11/26 (土)	第2回北海道国際協力フェスタ参加団体 ミーティング	北海道 NGO ネットワーク協議会の 歩み、当日の動き等の確認
1/18 (水)	北海道国際協力フェスタ 反省会	実行委員会、参加団体混合グループ で振り返り

#### 5. 参加団体一覧（順不同）

1	NPO 法人 「飛んでけ!車いす」の会	17	NPO 法人 北海道インターナショナル協議会
2	ネイバーズ	18	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela
3	NPO 法人 札幌VO	19	北海道大学 Habitat for Humanity Japan キャンパスチャプター けんちくん
4	PLAN サポートーズ@EZO	20	セカンドハンド北海道
5	(一財) 北海道国際交流センター	21	国際協力学生団体「結~yui」
6	北海道マルディコラネパール教育基金	22	ブルキナファソ野球を応援する会
7	フィリピン耳の里親会	23	市立札幌大通高等学校 遊語部
8	NPO 法人 どさんこ海外保健協力会	24	国連 UNHCR 協会
9	(公財) 北海道 YMCA	25	北海道ユニセフ協会
10	ほっかいどうピーストレード	26	青年海外協力隊を育てる会
11	(一社) 滝川国際交流協会	27	ヒマラヤ圏サパナ
12	(公社) 青年海外協力協会	28	CAPOEIRA BESOURO MANGANGA Japao
13	青年海外協力隊北海道 OB 会	29	道産子ヒーロー“舞神ソーランドラゴン”
14	札幌ベトナム交流会	30	JICA 北海道 (札幌)
15	非戦ネット 有志の会	31	NPO 法人 チェルノブイリへのかけはし
16	NPO 法人 さっぽろ自由学校「遊」	32	北海道青年国際交流機構 (北海道 IYEO)

## 6. 収支報告

### 「北海道国際協カフェスタ2016」 収支決算報告書

#### 1 収入の部

項目	内訳	最終予算額	収入額	備考
補助金		100,000	100,000	北海道国際交流・国際協力総合センター
自己資金		59,000	59,000	32団体参加
その他		172,984	172,984	JICA現物補助
計		331,984	331,984	

#### 2 支出の部

科目	内訳	最終予算額	支出額	備考
役務費	イベント保険料	17,600	17,600	
	各種手数料	18,290	18,290	実行委員会会場費
	消耗品	12,352	12,352	コピー用紙、ガムテープ等
通信・運搬費	チラシ送付料、パネル運搬費、駐車料金	21,594	21,594	
印刷製本代	パネル製作料	20,520	20,520	
	チラシ/プログラム製作費	20,608	20,608	
	報告書作成費	30,000	38,036	
賃貸料	会場/音響設備使用料	113,800	113,800	JICA現物補助
	備品賃貸料	59,184	59,184	JICA現物補助
講師謝礼	謝金	10,000	10,000	パネラー2名分
その他		8,036	0	
合計		331,984	331,984	

## ■セクション報告～ブース～

報告者：村橋裕（青年海外協力協会）

来場者にとって見やすく、スムーズに歩き回れる会場づくりをねらいとしました。会場は、5種類のチャリティーバザー、団体紹介ブース、ステージパフォーマンス、ワークショップ、パネルで構成しました。レイアウトは、昨年度のものをベースに今回の参加団体数に応じて変更点を加え、パネルを会場中央付近に割り振ることで、周囲から会場全体を見渡しやすい配置としました。なお当日は、車椅子の方でも自由に会場を見て回れるようにNPO法人「飛んでけ！車いす」の会の方と通路の確認を行いました。実際、人の流れを遮る要因は特に見受けられませんでした。

その一方で、後日の反省会においては、チカホの通行者を魅了するブースのセッティングやレイアウトについて改善点が上がってきました。一つは会場内が全体的に暗めであったため、通行者にとって活動内容が見えにくく、入りにくい雰囲気もあったという点。照明などを使い明るい印象を与え、訪れやすい雰囲気を作る必要性が浮上りました。さらに、集客数を増やすため、通行者の目を引く力をもつ出展団体を最前列あるいは最後列に配置することの必要性等、アイデアが出されました。今回も公平性を考慮し、くじ引きで参加団体の配置を決定しましたが、より良い会場づくりを目指すために、主催者側が意図した配置をしても良いのでは、との提案もありました。

次回は来場者数をより一層上げるため、通行者へ魅せる会場づくりに取り組んでいきたいです。

### ◆次回のフェスタへ向けて

- ・照明器具の導入検討
- ・見やすさ、歩きやすさに加えて、集客力を持つ目玉となる出展団体の配置検討
- ・会場レイアウトの見直し検討



## ■セクション報告～ステージ～



報告者：佐藤千恵子（札幌市立札幌大通高校 教員）

札幌市立札幌大通高校メディア局4名の生徒が運営を担当しました。メディア局は校内で学校祭やプレゼンテーション大会などのステージ運営、行事などの記録、FMラジオ番組〈IRODORI～大通ゆうしん～〉の放送、ODORI-CC.NETのブログ掲載などを主な活動とした学校の外局です。担当生徒は普段の活動で得たスキルを

活かし、準備段階からステージスケジュールの作成、MC原稿の集約を担当しました。ステージスケジュールは、トーク・映像・パフォーマンスのバランスやお客さんの出入りする時間帯を予測して作成しました。

当日、ステージ設営、MC、機材運営、観客席設営等を担当しました。発表団体に発表時間の10分前に舞台裾で待機いただき、音響機材操作ではスピーカーの特性に合うようにミキサーのEQを調整したり、発表団体の必要スペースを把握し、客席を設営したり、DVDやパワーポイントを使用する団体のためにPC操作を行い、スムーズなステージ運営ができました。

ステージパフォーマンスは参加者を引き付ける大事な役割を担っているため、来年度に向けて、ステージのスペース確保、客席スペースの確保、ステージの演目が通行人にも一目瞭然になるよう工夫する、英語MCの導入などを考えています。

最後に、今回の経験を通して、生徒たちは多くのNPO・NGO団体の活動を通して世界の現状を知り、またなにより、自分たちが普段学校で身につけたことが、ここで国際協力につながったことに気づくことができ、それぞれとても良い経験となり、来年も引き続き関わりたいと話していました。

### 国際協力フェスタ ステージスケジュール

順番	時間	団体名	内容	具体的な内容
OP	20分	CAPOEIRA BESOURO MANGANGA Japao	パフォーマンス	カポエイラパフォーマンス
1	20分	NPO法人「飛んでけ!車いす」の会	パフォーマンス (ファッションショー)	民族衣装ファッションショー&クイズ
2	15分	公益財団法人 北海道YMCA	映像	YMCAと国際協力事業紹介
3	20分	ヒマラヤ圏サバナ	パフォーマンス	ダンス
4	15分	ブルキナファソ野球を応援する会	映像・トーク	1、西アフリカベースボールプロジェクトを実施したこと。その背景および活動紹介 2、映像資料 3、今後の展望
5	20分	非戦ネット 有志の会	トーク	武力によらない平和な世界を目指して
	20分	さっぽろ自由学校「遊」		
6	20分	北海道ユニセフ協会	パフォ・映像・トーク	手洗いダンス
	20分	道産子ヒーロー“舞神ソーランドラゴン”	パフォ・映像	ヒーローの国際協力入門教室ハイライト実施
7	20分	JICA北海道(ジャイカ北海道)	バンド	日本で勉強中の外国人研修員たちと、一緒に歌って踊ろう!音楽ライブイベント!!
8	20分	実行委員会	トーク	パネルディスカッションor鼎談形式①国際協力に関わったきっかけとその内容について(7分) ②その経験を経て自身の変化や今につながっていることについて(6分) ③国際協力を難しいと思っている方に一言(4分) ④まとめ、ブース紹介「詳しくはブースで!」(3分)
9	15分	PLANサポーターズ@EZO	映像	映像上映。 「インド、ジンバブエ、ベトナムからープラン・インターナショナル活動地域の子どもたち」
10	20分	公益社団法人青年海外協力協会 & 青年海外協力隊北海道OB会	トーク	
11	20分	NPO法人 チェルノブイリへのかけはし	映像	
ED	20分	遊語部	パフォーマンス	ダンス、タイの歌、けん玉



## ■セクション報告～広報・インフォデスク～

報告者：木原由里子（NPO 法人どさんこ海外保健協力会）

広報・インフォデスクでは、2016年6月より日本医療大学3名（内山さん、志田さん、藤田さん）と北海道文教大学1名（八木さん）を中心にポスター作成、当日配布リーフレット作成・配布、スタンプラリーや感想カードの企画・実施、当日のインフォデスクを担当しました。

ポスターの作成に一番時間を費やしました。デザインには「世界各国の人々がお互いの文化を理解し、助け合っているように」との願いをこめ、また、今年のテーマである“TRY TO RETHINK”にちなんで、過去のフェスタで使用したデザインの顔マークを再び前面に出して、各国の人々の顔にしました。担当した学生さんたちはそれぞれ、デザインなどに関してはもちろん、パワーポイントの使用に関してもしっかりと初心者でしたが、実行委員からの「みんなで作っている温かみを大切に



作成したポスター  
(16ページに拡大版あり)



打ち合わせの様子

したい」という考えを聞き、どうにか作成できました。本当に素敵なものが出来たと思います。また、当日はメンバーの4名が民族衣装を纏い、通行人に対してブースを訪れていただけるよう、沢山声かけをしました。その結果、印刷したリーフレット700枚は全て配布でき、沢山の人に国際協力を知っていただくことが出来たのではないかと感じています。

反省点としては、ポスターやリーフレットに参加団体名やブース、ステージの情報を入力する際に、呼びかけが遅かったり確認のミスなどがあり、皆様にもご迷惑をお掛けしたことや来場者の方からの感想カードの回収がなかなかできなかったこ

となどがあります。当日は4名で休み無く、声かけを続けていたので、もっと人員を増やして余裕を持って出来ると良かったという声もメンバーからは聞かれました。

今回担当させていただいたことは、それぞれ、大変良い経験になったと思います。これからもこのような経験を通して、成長していくとともに、国際フェスタも今年の反省を生かして、より良いものを作ることが出来ると思いました。

皆様、本当にありがとうございました



インフォデスクメンバー！

## ■セクション報告～ワークショップ～

報告者：渡邊史帆（札幌国際大学 4年）

今回のワークショップではネイバース、国際協力学生団体「結～yui」、実行委員会から3つの企画を出展しました。ネイバースからはフィリピンの児童養護施設に通う子どもたちを送るクリスマスカード作りを、国際協力学生団体「結～yui」からはネパールの子どものたちを送る万華鏡作りを、そして実行委員会からは後に詳しく説明しますが、メッセージカードに色鉛筆やクレヨン、シールなどで装飾し、ネイバースのクリスマスカードとともにフィリピンの子どものたちを送るといった内容を企画しました。昨年の2団体の出展と比べ今回のワークショップでは3団体の出展と増えたため、万華鏡作りからクリスマスカード作り、クリスマスカードの作成後にメッセージカード作りなど、1つだけではなく2つ3つと参加していられる方が目立ちました。また、子連れの方（関係者の方もいたかもしれませんが）が自分の興味のあるブースを回っている間、お子様がワークショップに参加してくれるといった場面も見受けられました。

今回のワークショップを企画するにあたり気をつけたことは、小さな子どもだけではなく大人の方にも参加してもらえそうな内容にしたことです。実際にメッセージカード作りでは老若男女に親しみを持ってもらえるようなシンプルなデザインのカードに色を塗るだけという手軽で参加しやすいものになりました。その結果、前回よりもワークショップのスペースが広がったということも相俟って大人1名での参加も増えたと思います。次回は1番奥にあるワークショップまで来ていただけるよう、インフォデスクなど目につくところでアピールできたらいいなと思います。



### 【エピソード～フェスタが繋ぐもの】

渡邊さんは札幌国際大学の1年時、国際協力論を受講した縁で4年間に及び国際協力フェスタの実行委員として関わっていただきました。主催者を代表し本当に感謝いたします。卒業後もよろしく申し上げます。立石記す

## ■北海道国際協力フェスタ実行委員会 企画

### ワークショップ報告～メッセージカードづくりについて～

報告者：久保奈菜（あやめの歯科）

気軽に参加しやすい国際協力として、《フィリピンにある児童養護施設の子どもたちへメッセージを送ろう》というテーマでメッセージカードづくりを企画しました。

今回、メッセージカードづくりを行う上で、フィリピンの児童養護施設やルワンダの子どもたちへの教育支援を行う団体を支援している“花すまいる”の方から英語版のうさぎさんの絵本（日本語訳付き）を提供していただきました。この絵本は、今回メッセージカードを送ったフィリピンの養護施設へクリスマスカードを送るために生まれたチャリティー絵本やカレンダーの一つです。フィリピンでは、クリスマスに家族や友達同士でメッセージカードを贈り合う風習があり、たくさんの子どもたちへたくさんのメッセージカードを届けようという目的がありました。



作成したメッセージカード



札幌国際大学ボランティア論講義内で

メッセージカードの見本は事前に札幌国際大学の学生さんに作成の協力をいただき、来場者の目に留まるように展示・装飾しました。ワークショップは奥のブースで行われていたため、フェスタ開始直後は参加する来場者の方が少なく、何ができるブースなのかわかってもらえていなかったようでした。そのため、即席でPOPを作り目立つ位置に貼ったり、ワークショップ担当者自らメッセージカードを作成したり、何をしているかをわかるように工夫しました。参加してくださった方は、当初

考えていた子どもや学生よりも大人の参加が多く、大人のぬりえが流行していたことも関係あるのかと感じました。また、ワークショップに参加している方同士でのコミュニケーションの場として、人と人がつながるきっかけにもなっていました。後半になるにつれて、ステージを見たついでやスタンプラリーのために立ち寄って下さる方も多く、フェスタをいろんな角度から楽しんでくださっていることを実感しました。

皆さんの協力もあり、100枚近いメッセージカードを作ることができ、“ネイバーズ”さんのクリスマスカードと共にフィリピンにある児童養護施設の子どもたちへ届けることができました。



渡邊史帆さん（左） 久保奈菜さん（右）

#### 【エピソード～フェスタが繋ぐもの】

この企画を提案した久保奈菜さんは、月寒にある「あやめの歯科」に勤務しています。この歯科医院を経営している渡部ファミリーは今から18年前、第2回目のフェスタに来場したことがきっかけで、その後、数年にわたりフェスタや北海道NGOネットワーク協議会の活動にもご協力いただきました。

このメッセージカードは渡部さん親子が作成したものです。国際協力は弱い立場の人や生命に対する慈しむ気持ちが根本にあることを気づかせてくれ、その優しい気持ちは、時間や空間を超えてつながるものなのだと思わせてくれました。感謝です！（立石記）

## ■北海道国際協力フェスタ実行委員会 企画

### ステージ報告～コクサイキョウリョクの壁をぶっこわせ！～

報告者：小田玲実（AYMWORKS 中国語通訳翻訳者）  
大崎美佳（北海道国際協力フェスタ実行委員会）



タンザニアの衣装などそれぞれ思い入れのある服を着て

難しそうに感じる「国際協力」をより身近に感じてもらうために「コクサイキョウリョクの壁をぶっこわせ！」をテーマにステージイベントを企画しました。

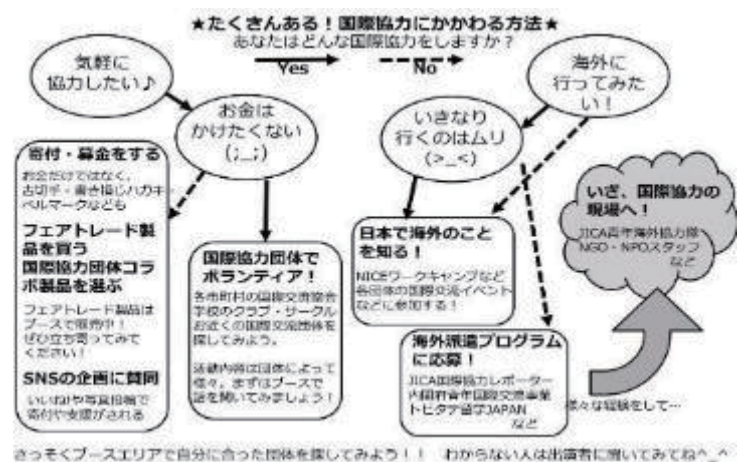
国際協力と聞くと「外国語がペラペラでなければならない」「海外の現場に行かなければならない」「何か高い技術を持った方が行くもの」など、とても敷居が高いものと思われがちです。特に、普段海外の方と接することの少ない方や、社会人経験・留学経験のない学生さんなどは、なかなか手を出し

づらく感じているようでした。国際協力には様々な種類があるにも関わらず、なかなか知られていないのが現状です。ここではいろいろな形の国際協力について知り、はじめの一步を選択できるよう、藤井花さん（北海道国際交流センター（HIF））と小原実果さん（北星学園大学）に登壇いただきました。

藤井花さんは、学生時代にサポートの厚い公的プログラム「内閣府青年国際交流事業」と国際協力の現場を学生のうちから体験できる「大学連携 JICA 短期ボランティア」に参加され、現在は国際交流に関わるお仕事をされています。藤井さんから「学生さんでも留学以外の方法で海外に飛び出せる、国際協力の現場に参画することができる」と体験談をお話いただきました。

小原実果さんは、誰もが始められる身近な国際協力の例として、参加されているサークル「北星フェアトレード」と「TFT（TABLE FOR TWO）」の活動についてご紹介いただきました。小原さんからは「フェアトレード商品はそれを購入するだけで国際協力になり、さらに販売活動などを通じて多くの人に普及・啓発することができます。海外に渡航したり、語学をマスターしたりしなくても、日本国内で気軽にできるのが魅力です」とお話いただきました。

当日は、ターゲットとしていた若い方はもちろん、さまざまな世代の方々に私たちのステージをご覧いただきました。国際協力のはじめの一步を踏み出すことに興味を持ってくださる方の幅広さに驚いてしまいました。国際協力に興味はあってもどんなことをすればいいのかわからないと感じている方へのきっかけづくりの一助になれたのではないかと思います。



いろいろな国際協力について来場者の方に配布しました

## ■北海道国際協力フェスタ 2016 反省会

### ・反省会概要

日時：平成 29 年 1 月 18 日（水）19:00～21:00

場所：かでの 2. 7

参加者数：20 名

方法：KPT を用いて 4 つのグループに分かれて意見交換を行った。各グループから優先順位が高い 7 つを発表し、全体で共有した。

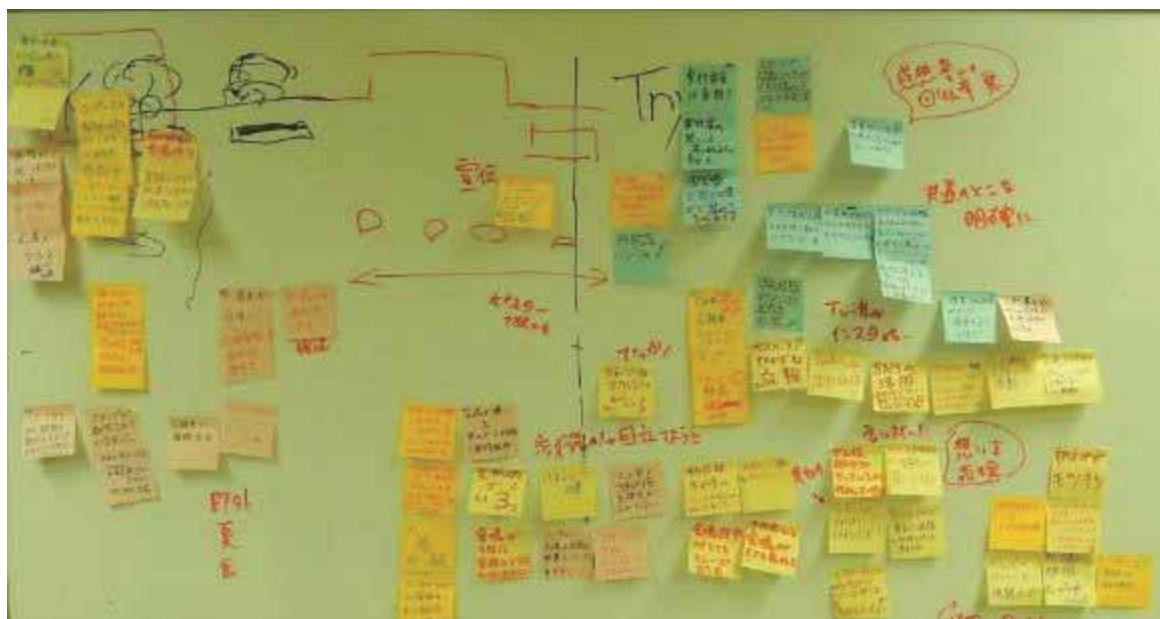


### ・参加者からでた意見（発表したもののみ記載）

	良い点/課題	改善案
共通情報を明確に	大きなポスターをデスクに貼るべきだった	ステージのプログラム、フェスタのポスターをインフォメーションに大きく貼る
		ステージのタイムスケジュール（大きめの）
		ステージで何をしているのかめくりみたいなのがあれば。
		会場の入り口に看板みたいのがあったらよい
	わかりやすい会場づくり	インフォに会場の地図を設置しブースをみやすく
		インフォでの宣伝をもっとすべき（リーフレットを渡すとき、もっと話す）
		会場図をスクリーンに投影
		意図をもって配置を実行委員が決めてしまう
		衣装やアクセサリなどでフェスタをもっとアピールする
	大看板がいる	会場全体をデコレーション（デザイン）例）風船
インフォデスクのデコレーションをもっと派手にしては？	ライト・柱の活用	
会場が暗い	奥のブースの団体に照明を配布	
ぱっとみて、活動内容や支援先がわからない		
会場のつくりかた		人が集まりそうな団体さんを通路側にする
		昨年 JOCA さんがやった海外の人とつなぐ
		ミニステージてきなもの
	パネルの位置	
	スペースの有効活用	目立つ団体が通路側
	ステージ、パフォーマンス、観客スペース、ともに足りない	場所を変える
	道幅が狭い場所があった	会場を変える！大通りとか
ポスターなど貼る場所が少ない		

		複数会場同時（OR 連日）開催
	Web をうまく活用しきれていない	SNS の活用 みんなで少しずつ毎日続けていて候補するのが大事
広報		準備段階からの SNS 拡散等
		Facebook、Twitter など SNS を活用！（イベントページのシェア、記事の作成とか）
		SNS アプリ
		ステージ動画録る UP も
	ポスター&チラシが情熱足りない	パンフデザイン業者に依頼。※手作り感を大事にする場合は（良？読み取れない）
		ポスター、チラシで何をやるのか、どんな目的か明確にする
	どんな目的でやっているのか伝わっていない	
	Rethink がどれほど伝わったか？	簡単なアンケートで満足度を測る（シールを貼る）
運営	ML でのやり取りが複雑だった	ML の使い方を決める。例）1日に流す量、スレッドの立て方→混雑しないかもしれない
		実行委員会内の連絡手段 ML→Google Drive 等
		ML 一斉送信 OK 返信は個別に
		Freeml のアプリ利用
	ステージの段取りのプロセスも分かりやすかった（ML で共有できた）	
	メール内でのやり取りに問題なく内容の確認ができた	
	会場設営がとてもスムーズだった	
	実行委員は負担？	実行委員の若い人、若く見える人に交通費
		運営費を参加費から（売上の3%以上）
	打ち上げがキツキツ	
	外国語インフォ	日本語→外国語はぜひ大通高校の雄吾部にやらせてください！
	チカホはきやすい（ファンの人に来てくれた）	
	来年もチカホで！	
	チカホという会場がとてもよかった	
	中高生がすくない	中高生へ告知する
	学校関係の参加者を増やす	







# 北海道国際協力フェスティバル2016

## TRY TO RETHINK

!

!

**これまでの国際協力とは？  
これからの国際協力とは？  
もう一度考え直してみよう！！**

- ・迫力のステージ
- ・参加団体によるブース
- ・ワークショップ
- ・可愛い雑貨のチャリティバザーもあるよ！

**日時：平成28年12月3日(土)**  
**11:00～17:00**

**場所：札幌駅前通地下広場**  
**(チカホ)北3条交差点広場**

Facebookに「いいね！」してね！

**参加団体(32団体)**

<ul style="list-style-type: none"> <li>★CAPOEIRA BESOURD MANGANGA Japan</li> <li>★国際協力学生団体「結〜yui」</li> <li>★国連UNHCR協会</li> <li>★NPO法人 札幌VO</li> <li>★NPO法人 さっぽろ自由学校「遊」</li> <li>★札幌ベトナム交流会</li> <li>★JICA北海道(札幌)</li> <li>★市立札幌大森高等学校 遊語部</li> <li>★(公社)青年海外協力協会</li> <li>★青年海外協力隊北海道OB会</li> <li>★青年海外協力隊を育てる会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★セカンドハンド北海道</li> <li>★(一社)滝川国際交流協会</li> <li>★NPO法人 チェルノブイリへのかけはし</li> <li>★NPO法人 どさんこ海外保健協力会</li> <li>★道産子ヒーロー"舞神"ソーランドラゴン"</li> <li>★NPO法人 「飛んでけ!車いす」の会</li> <li>★ネイバーズ</li> <li>★非戦ネット:有志の会</li> <li>★ヒマヤン園サバナ</li> <li>★フィリピン耳の里親会</li> <li>★PLANサポーターズ@EZO</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ブルキナファノ野球を応援する会</li> <li>★NPO法人 北海道インターナショナル協会</li> <li>★(一財)北海道国際交流センター</li> <li>★北海道青年国際交流機構(北海道IYEO)</li> <li>★北海道大学Habitat for Humanity Japan キャンパスチャプター けんちくん</li> <li>★ほっかいどうピーストレード</li> <li>★北海道マルチコラネバル教育基金</li> <li>★北海道ユニセフ協会</li> <li>★(公財)北海道YMCA</li> <li>★酪農学園大学国際交流サークル SuikaRela</li> </ul>
--	--	--

主催：北海道NGOネットワーク協議会  
 共催：JICA北海道  
 協力(予定)：公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター  
 後援(予定)：北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、  
 ◎公益財団法人札幌国際プラザ、北海道新聞社

お問い合わせ  
 北海道NGOネットワーク協議会 事務局 岡田  
 〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNEビル3F(公財)札幌国際プラザ内  
 TEL:011-211-5028 FAX:011-232-3833 E-mail:okada@hif.or.jp

絵：やぎちゃん  
デザイン：じだちゃん

# 北海道国際協力 フェスタ2016 TRY TO RETHINK



日時: 2016年12月3日(土)  
11:00~17:00  
場所: 札幌駅前通地下広場(千力ホ)  
北3条交差点広場

今回のテーマは、TRY TO RETHINK。  
これまでの国際協力はどんなだったろうか？  
そして、これからは、どんな国際協力を  
していくのか？  
いろいろな団体のお話をきいて、  
もう一度、考えなおしてみよう！！

スタンプラリーをやってみよう！  
5つ以上の団体のお話をきいて、  
裏面にスタンプをもらおう！  
スタンプがたまったら、  
インフォデスクにこの紙をもって来てね！  
素敵なプレゼントがもらえるよ！！

主催: 北海道NGOネットワーク協議会  
共催: JICA北海道  
助成: (公社)北海道国際交流・協力総合センター  
後援: 北海道、札幌市、北海道教育委員会、  
札幌市教育委員会、(公財)札幌国際アライザ、  
北海道新聞社

## お問い合わせ

北海道NGOネットワーク協議会 事務局 岡田  
〒060-0001  
札幌市中央区北1条西3丁目札幌Mビル3F  
(公財)札幌国際アライザ内  
TEL: 011-211-5028  
FAX: 011-232-3833  
E-mail: okada@hif.or.jp

## ステージスケジュール

時間	団体名	内容
10:55~		開会式
11:00~ 11:20	①CAPOERA BESOIRO KAWAMURA Japan	お札(行)オーケストラ
11:20~ 11:40	②HAKOBE人 札幌国際アライザ 代表	舞踏家高橋アキラのダンス パフォーマンス
11:45~ 12:00	③公益財団法人 北海道YMCA	イキアヒの国際協力を 通じての紹介ビデオ
12:05~ 12:25	④札幌マリンセンター	札幌マリンセンターの国際協力を 通じての紹介ビデオ
12:30~ 12:45	⑤アムナナフアツリ野田 代表	野田は国際協力がもたらした 世界への感謝の気持ちを 伝えるパフォーマンス
12:50~ 13:10	⑥札幌市教育委員会	札幌市教育委員会の国際協力を 通じての紹介ビデオ
13:15~ 14:35	⑦北海道国際交流・協力総合センター 代表	北海道国際交流・協力総合センターの 国際協力を通じての紹介ビデオ
14:40~ 15:05	⑧JICA北海道	日本国際協力団(JICA)の国際協力を 通じての紹介ビデオ
15:10~ 15:30	⑨北海道国際協力センター 代表	北海道国際協力センターの国際協力を 通じての紹介ビデオ
15:35~ 15:50	⑩PLANETアライザ、EZO	PLANETアライザ、EZOの国際協力を 通じての紹介ビデオ
15:55~ 16:15	⑪北海道国際交流・協力総合センター 代表	北海道国際交流・協力総合センターの 国際協力を通じての紹介ビデオ
16:20~ 16:40	⑫HAKOBE人 札幌国際アライザ 代表	HAKOBE人の国際協力を 通じての紹介ビデオ
16:40~ 17:00	⑬札幌市教育委員会 代表	札幌市教育委員会の国際協力を 通じての紹介ビデオ
17:00~		閉会式



この衣装はどここの国？



色とりどりの民族衣装が披露されたファッションショー

おすすめの  
ニュース

### 民族衣装披露し異文化理解 札幌でフェスタ

海外を支援する活動を紹介する「国際協力フェスタ」が3日、札幌市中央区の札幌駅前通地下歩行空間で開かれました。外国に興味を持ってもらおうと、民族衣装ファッションショーをはじめ、さまざまなイベントが行われました。

国際協力に取り組む団体でつくる北海道NGOネットワーク協議会が主催しました。イベントには32団体が参加し、海外の子もたちに本を贈ったり、海外で家を作る手伝いをしたりする活動をパネルで紹介しました。

ファッションショーでは、世界各地に車いすを贈っている札幌のNPO法人「飛んでけー車いす」のメンバーらが、中国やアフガニスタンなどの伝統衣装を身に付けてステージに登場しました。ブラジルの伝統格闘技「カポエイラ」も披露され、会場を盛り上げました。主催した協議会の立石喜裕会長(56)は「身近な人を敬うような気持ちで、海外を支援する活動に参加する人が増えてほしい」と話しました。

北海道新聞 2016.12.4 朝刊